○○○○年○○月○○日

別添2

**研究開発成果の事業化計画書
*（共同提案の場合、事業者ごとに記述してください。）***

会社名 株式会社○○○○○○

1. 実用化・事業化を行う製品・サービス等の概要

1. 内容

***ここでいう「実用化・事業化」とは、当該研究開発に係る成果（構造化AIツールのプロトタイプ）を有機系材料開発に適用し、改良に取り組むことを意味します。***

***どの様に研究開発の成果を有機系材料開発に適用していくのか、どの様に改良に取り組んでいくのかを、記載ください。***

1. 用途

***どの様な有機系材料開発に活用していくのか、それによってどの様な効果を期待しているのか、等について記載願います。***

2. 実用化・事業化への取組

1. 実用化・事業化に向けた計画等
***プロジェクト期間終了後5年間に実施する研究開発計画（有機系材料開発への適用や、構造化AIツールのプロトタイプの改良等）を記載願います。***
2. 実用化・事業化を考えるに至った経緯（動機）

***研究開発の成果（構造化AIツールのプロトタイプ）を有機系材料開発に適用し、改良に取り組むことを目指した背景等について具体的に記載願います。***

1. 事業として成功すると考える理由

研究開発の成果（構造化AIツールのプロトタイプ）が有機系材料開発に有用であると考える理由を、独創性、他との競争力、活用・改良する上での課題とその解決方法等、具体的に記載してください。

1. 実用化・事業化計画に対する申請者内におけるコミットメントの状況
実用化・事業化計画について申請者内の研究開発部門等、関連する事業部の責任者等との現時点でのコミットメント状況について記載願います。
2. 実用化・事業化のスケジュール

（１）「実用化・事業化に向けた計画等」で記述した内容を踏まえ、プロジェクト期間終了後５年間の研究開発計画（有機系材料開発への適用や、構造化AIツールのプロトタイプの改良等）を、それぞれの内容が明瞭となるよう線表、矢印、記号等を用いて記述してください。

材料開発・ツール改良の一部又は全部を自社で行わない場合は、委託先の選定、協力体制等を具体的に記述してください。

***(記入例)***

|  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| ***年度*** |  ***年度*** |  ***年度*** |  ***年度*** |  ***年度*** |  ***年度*** |
| ***有機系材料開発への******適用・活用******プロトタイプの改良*** | ***○○探索に適用Tuki*** ***△課題抽出*** | ***○○探索に適用******▲Tuki*** ***△課題解決（〇▲大学)******○△項目の追加(〇▲大学)*** |  | ***△△探索に活用******▲Tuki*** ***○□性能の向上(〇▲大学)*** | ***□□探索に活用******▲Tuki***  |

3. 市場の動向・競争力

1. 現状と将来見通し／産業創出効果

***当該研究開発に係る成果（構造化AIツールのプロトタイプ）を有機系材料開発に適用し、改良に取り組むことにより、得られる効果（新たな機能性材料の商品化、材料研究開発期間の短縮等）を示し、その前提・根拠等を記述してください。（現状、プロジェクト期間終了時点及びプロジェクト期間終了5年後についてそれぞれ記載願います。〉***

（注）

 1. 用紙の大きさは、日本工業規格A列4判とし、縦位置とすること。